

重点環境施策4 温室効果ガス排出量の抑制に取り組みます。

前期指標	策定時現状値	実績値推移					前期目標
		H30	R1	R2	R3	R4	
市役所庁舎分の温室効果ガス排出量の削減 (説明) 市役所庁舎分の温室効果ガス排出量の合計値と策定時現状値との比較。	- 9980935 10038677 kg-CO2 (基準年 H30)	0% 9980935 0% 10038677	△2.1% 9772626 △2.5% 9786832	△3.9% 9589036 △10.3% 9001200	△4.3% 9549360 △10.7% 8960051		基準年より 5%削減
グラフ							
推移の分析・考えられる要因							
<p>横ばい</p> <p>R3年の低温・大雪等の影響で一部施設において灯油の使用量の増加があったものの、全体として温室効果ガス排出抑制の意識が浸透してきていることと、コロナ禍で様々な活動が縮小していることが大きく影響していると考えられる。</p> <p>また、電気事業者別の二酸化炭素排出係数が見直しされたことにより、電気使用量の削減(△2.8%)以上に係数見直しの影響(△7.9%)が大きかった。</p>							

【後期計画に向けて】

指標の方向	継続
その理由 (削除の場合)	
R9目標値	目標値設定理由
基準年(H30)より 5 12% 削減	引き続き、前期目標値を目指す。 令和3年度実績より更なる削減を目指す。(令和3年度より△1.3%)
今後の施策の方向性、考えられる対策等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の方向性：地球温暖化につながる温室効果ガス削減の普及・啓発に努めます。環境マネジメントシステムの普及に取り組みます。 ・ 考えられる対策等：再生可能エネルギーの導入促進、街灯のLED化を進めるなど。 	
対応するSDGs目標	